

40年ぶりに小学校が35人学級に！早急に30人学級を！

少人数学級を求める署名 **ありがとうございました**

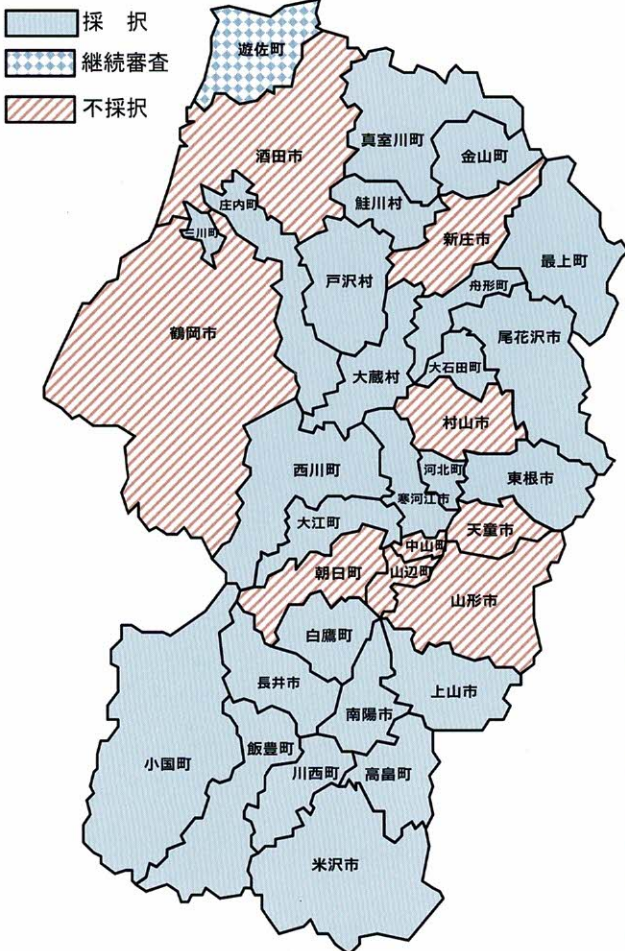
山形県署名数 **1万5千筆**

25市町村で国へ意見書

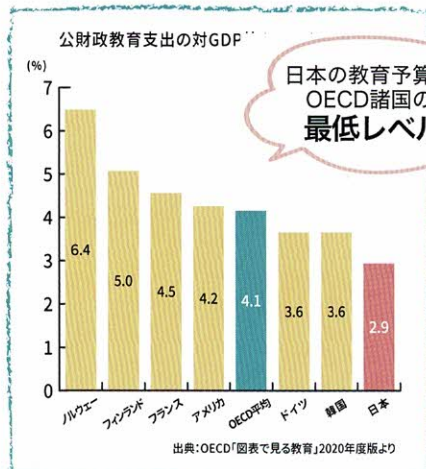
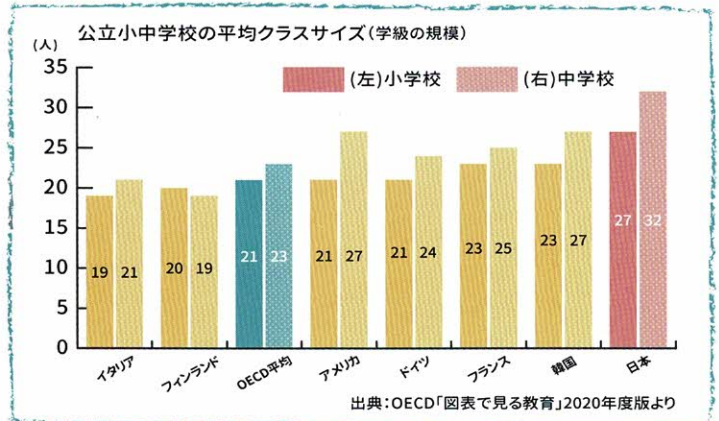
今年度から5年かけて、小学校の全学年で35人学級が実施されることになりました。40年ぶりに学級規模が改善されたことは大きな前進です。これには保護者や教職員、行政関係者や議員など、広範な方々の声その力となりました。「県民の会」に寄せられた署名は14847筆（8/20現在）にのぼりました。さらに25市町村議会において請願が採択され、「30人学級実現を求める意見書」が国会に届けられました。関係各方面のご尽力に感謝申し上げます。

しかし、35人は国際的に見れば依然として多人数学級です。不登校など多くの問題を抱え、思春期で手厚い教育が必要な中学校、そして高校が対象から外されていることも問題です。子どもと保護者、教職員の願いは20人程度の学級です。なお一層の少人数化、中学校、高校への拡大、実施のテンポを速くすることが求められます。

議会請願結果 (6月議会まで)



平均クラスサイズと教育予算 [国際比較]



日本の教育予算は、OECD諸国の最低レベル

こんなに大きい、日本の学校のクラスサイズ

小中学校の全学年で20人程度の学級編成をするために必要な予算は、約1兆円です。教育予算をOECD諸国の平均並みに引き上げれば十分にまかなえます。

少人数学級をすすめる県民の会

山形市薬師町2-6-15新発見ビル2F 教育文化センター

TEL 023(608)3520 FAX 023(608)3207 akri@h2.dion.ne.jp